

## 水源環境保全・再生かながわ県民会議 令和4年度第3回事業モニター実施概要

日 時 令和4年10月19日（水）10時20分～16時15分  
 会 場 足柄上合同庁舎5階東側会議室B  
 視察現場 間伐材搬出地（小田原市久野地内）ほか  
 出席者 県民会議委員15名  
 内訳：事業モニターチーム12名及び有識者3名（土屋座長、青砥委員、羽澄委員）  
 説明者 神奈川県森林再生課、県西地域県政総合センター森林部森林保全課、  
 小田原市森林組合（補助事業者）  
 内 容 次のとおり

### 1 事業概要の説明（10:20～11:15 於：足柄上合同庁舎5階東側会議室B）

#### ■説明内容

・「間伐材の搬出促進」（4番事業）の概要について、森林再生課の説明を受けた。

#### ■主な質疑

Q1：以前は、補助金の標準単価はもう少し高かったと思う。金額は変わったのか。（古舘委員）

A1：集材を伴う場合（定性・列状伐採）の $\text{m}^3$ 当たりの標準単価は、平成29年度は24千円、令和2年度は22千円、令和4年度は20千円と下がっている。これは、令和8年度の大綱終了後を見据えて、生産効率を高め、ソフトランディングできるようにするためである。（森林再生課）

Q2：1日の作業効率は如何（古舘委員）

A2：直近データでは、1人1日当たりの作業生産効率は、全国平均 $4.35 \text{ m}^3$ 、神奈川県は $2.4 \text{ m}^3$ 。県の作業生産効率は年々少しずつ上がっている状況である。

Q3：間伐材搬出促進事業の生産量は増加傾向だが、補助事業がなくなる大綱終了後の見通しは如何。（三好委員）

A3：搬出にかかる補助金がなくなると、厳しい面もあるかと思われる。そのためにも、今は、生産効率を上げる技術を磨くこと、また、付加価値のある材づくりへの取組みなどが必要である。（森林再生課）

### 2 現場視察

（1）12:45～14:00 間伐材搬出地（小田原市久野地内）、小田原市森林組合貯木場

#### ■説明内容等

- ・県西地域における間伐材の搬出促進事業の実績及び視察現場について、県西地域県政総合センター森林部森林保全課の説明を受けた。
- ・間伐から運搬にかかる行程等について、小田原市森林組合（補助事業者）の説明を受けるとともに、伐採・玉切り等の様子を視察した。

▼間伐材搬出地 現場視察の様子



3 意見交換（14:45～16:15 於：足柄上合同庁舎5階東側会議室B）

モニター実施後、県民会議委員による意見交換を行った。①実際の間伐や玉切りの作業を見て感動した、②第1回事業モニターのかながわ森林塾の意義が改めてわかった、③機械導入による生産効率という視点もあるが、一方で、地域性等を踏まえた神奈川県の実業の在り方も考えなければならぬのではないか、といった意見が挙げられた。



▲意見交換の様子

(以上)